

CTGの建交労 とちぎ

発行所 全日本建設交運一般労働組合
栃木県本部 〒327-0315
栃木県佐野市吉水駅前1-2-1
0283-62-7312 fax 0283-62-7318
http://www.kenkourou.or.jp/
E-mail:DQJ06744@nifty.com

台風15号千葉県で甚大な被害が発生 自然災害への防災意識高めよう



強風で倒れた電柱(館山市)



人手の足りないブルーシート作業(南房総市)

9月5日に発生した台風15号によって、千葉県ではいまだ多くの被災者が厳しい生活を余儀なくされています。進路が少し西にずれていれば、本県も大きな被害を受けていたのは間違いないと思います。人ごとではありません。



9月15日館山市のボランティアセンターにブルーシート、土嚢等を緊急支援。

組閣より災害対応を

千葉ダンブ支部によると、倒木によるダンブ破壊や敷地内の小屋倒壊など、数名の組合員に被害が発生しています。また約20名の組合員宅で数日停電、断水が続いたようです。台風発生当初、大きな被害はないと思われて

いましたが、通信障害により仕事ができなくなりました。大規模停電が長期化するなか、政府の初動対応に批判が出ています。台風被害にたいする

危機感が薄く、上陸2日目のタイミングで内閣改造を行い災害対策会議等後手に回っています。組合では可能な支援を継続します。

なるなど、被害は広がっていました。栃木県本部では千葉ダンブ支部に緊急義援金を送ることを決定、また、9月15日、16日館山市内の民間ボランティアセンターに救援物資を届け、倒木の伐採等ボランティア活動に参加しました。一人暮らしの高齢者が、強風で倒れた桜の巨木の前で茫然としていました。

組合員を増やす重要性 工藤委員長全国に訴える

8月31日、9月2日、日建交労第21回定期大会が群馬県安中市磯部温泉で開催され、県本部から代議員4名が参加しました。討論では工藤委員長が栃木ダンブ支部の取り組みについて次のように発言しました。「組合員の高齢化が進み、健康状態や運転能力についても組合として関わるのが重要になっていく」と、健康診断会や適齢診断など



会場は「着たきり雀のお宿」と聞いていた。貧しいかわいそうな雀の話だと思っていた。正確には「舌切り雀のお宿」であった。なんて残酷な話だ(怒)! 某労組の統制処分か!

み重ねが重要と訴えました。また、全国的に増えている軽貨物個人事業主など、ダンブのノウハウを活用した新たな職種の組織化について展望を語りました。

多くの国民が停電断水で苦しみ、熱中症で亡くなる人もいたなかで、官邸ではえんぴ服を着て、「小泉大臣初入閣おめでとうございませ」などとお祝いムードでした。災害発生から2週間たっても政府の対策本部はいまだ立ち上がっていません。国民の生命・財産を本気で守る気があるのか、安倍内閣の姿勢が問われています。

自然災害共済を

住宅や家財の備えが不十分な組合員も少なくありません。組合では全労済の「住まいる共済」をお勧めします。お問い合わせください。

知ってますか？建設国保の傷病手当金制度

組合で扱う建設国保は所得や資産に係なく、年齢と家族構成で保険料が一律です。年々高額化する市町村国保から切り替える組合員が増えています。市役所からの国保税通知と下の建設国保保険料を一度見比べてください。

さらに建設国保の場合、入院して仕事ができなかった場合1日につき5千円の傷病手当金が最高40日まで支給されます。市町村国保にはない制度です。ただし、法人に雇用されている方や建設関係以外の方は加入できません。



建設国保2019年度保険料(1ヶ月分)

	19歳以下	20~24歳	25~29歳	30~39歳	40~49歳	50歳以上
本人	9,900	12,000	14,100	17,000	19,000	21,000
家族1人	15,300	17,400	19,500	22,400	24,400	26,400
家族2人	20,700	22,800	24,900	27,800	29,800	31,800
家族3人	26,100	28,200	30,300	33,200	35,200	37,200
家族4人	31,500	33,600	35,700	38,600	40,600	42,600
家族5人	36,900	39,000	41,100	44,000	46,000	48,000
家族6人	42,300	44,400	46,500	49,400	51,400	53,400

10月から税率10%に！消費税の請求・支払いの徹底を

景気悪化のなか、政府は10月から消費税率の引き上げを強行しようとしています。個人消費がいつそう冷え込み、さらなる景気悪化が予想されています。税率の引き下げを求める国民的な運動が求められています。

一方的な値引きには応じない消費税を「内税扱い」とされ、消費税分値引きされているケースがあります。

「内税」であれば、この10月稼働分から2%程度単価が上がらなければなりません。業者間でも消費税の取扱いが不透明な取引が見受けられます。この機会に適正取引の徹底を。

今後インボイス制度の導入など、納税者を苦しめる改悪が予定されています。

私たちは主権者として税金の徴収、支出について関心を持つことが重要です。



複分数経税率

税務署は、食料品など税率が8%据え置き経費とその他の経費を区分して記帳することなどを求めています。

30年前の業界はこの世代が中心でした

【組合員紹介】 大澤記祥さん(ダンプ支部)

業界も組合も高齢化が進んでいます。国は建設産業の「担い手育成」を最重要課題と位置づけ、様々な対策を講じていますが、深刻な状況は変わりません。

大澤記祥(ふさよし)さんは今年ダンプ業界に新規参入した35歳相当大胆な男。「春まで農協に勤めていました。主に農機具のメンテを担当してました。迷いはありませんでしたが、兄(組合員)もダンプに乗って協力してくれるってうんで、思い切って退職して始めました」。

「同世代の知り合いは一人くらいあとはみんな親父くらいの人が多いですね。ダンプは自



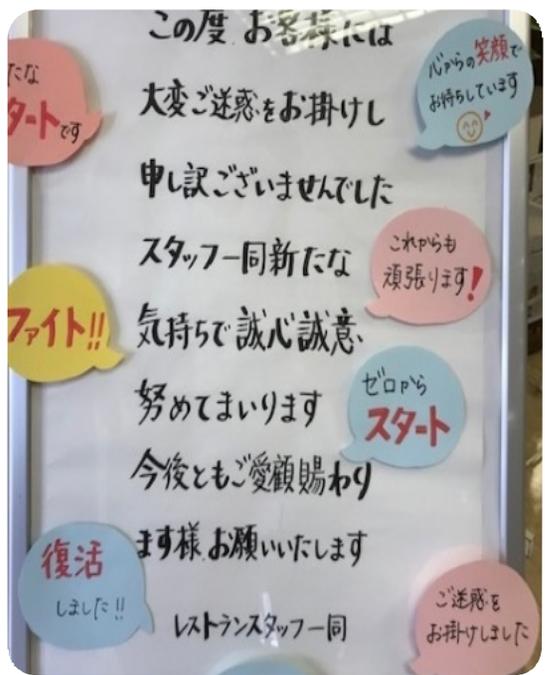
礼儀正しく人当たりもいので営業もできそうなタイプ。竹原ピストル似でもある。組合活動もよろしくです。

分です。自分で持つてやるとするよりスクが高すぎます。車が高いでしょう。」「勤めていた時に比べると、たしかに朝は早いし休日は少ないんですが、その分やりがいもあります。一番気を付けているのは事故ですね。酒も週末以外は飲みません。アルコールエックがあるわけじゃないけど、自分で管理しています。あと仕事先でのあいさつとか何の仕事でも基本だと思えます」。

「小学生の時にアマチュア無線の免許を取りました。趣味は温泉。奥日光とか伊香保は定期的に行きます。女優だと石原さとみ。えー知らないっすか(怒)！」

祝・佐野SA職場復帰 団結と正義の勝利

9月24日、SAレストラン内(！)に掲示。みんな笑顔。私たちも引き続き応援します。



経営危機、不当解雇が発端となり、お盆から従業員によるストライキに突入していた東北道佐野SA。会社が「違法スト」として営業損害請求をチラつかせるなど、争議は長期化の様相を呈していました。しかし、従業員側が団結して闘った結果、現経営陣が退陣を表明、22日スト終結、職場復帰が実現しました。

24日佐野SAには解雇が撤回されたK氏の姿も「まだ予断は許しません。頑張ります」。